



# 篠小だより

～学ぶ つながる 篠原の子～

令和5年10月31日

11月号

〒222-0022 横浜市港北区篠原東三丁目27番1号 TEL045-401-9532 FAX045-431-9538

## 愛着

校長 松久保 伸子

PTA主催の「しのはら祭り」が大盛況のうちに終わりました。感染予防と児童数増加のため在籍児童を対象にした2部制の開催ではありましたが、全校の約8割の児童の参加申し込みがあり、どれだけ子どもたちが楽しみにしていたかが分かります。しのはら祭り委員会をはじめ、PTA会員の皆様に感謝申し上げます。

さて、しのはら祭りや篠原八幡神社の例大祭などまちの行事に参加することは、子どもたちのまちへの愛着を育みます。まちへの愛着の気持ちは、子どもたちのアイデンティティーを醸成し、自分もまちを構成する大事な一人としての自信と責任が育ちやすくなると思います。もちろん今後引越をする子どもたちもいるはずですが、住んだまちそれぞれで、大切にされた思い出が残れば、きっとその子どもの心の中には、アイデンティティーが育っていくのではないのでしょうか。



子どもたちにとって大切な愛着ですが、この愛着が形成されにくくなっているという新聞記事を目にしました。2011年の東日本大震災のときに、対応に追われた大人たちの前でいい子を演じなければならなかった子どもたちが、大人と十分な愛着を築くことができず、苦しんでいた。そして同様のことがコロナ禍でも起こっていたであろう、という内容です。確かに、経験したことがない未曾有の事態に我々大人は翻弄され、子どもたちの心に寄り添えていたかという、決して十分ではなかったと感じられる点が多々あります。大人と信頼しあえる確かな愛着を形成できずに苦しんでも、子どもたちは言葉で表現することは難しい場合もあり、体調不良などの行動で示す場合もあるでしょう。今からでも決して遅くはないと考えます。保護者様と子どもたちの愛着形成をぜひ再確認して、さらにたくさん「大好きだよ。大切にしているよ。」と言葉と行動で補充してあげていただければと思います。私たち教職員も、子どもたちと接することが一番多い身近な大人として、愛着形成のお手伝いをしていきたいと思っています。また小学校は、まちへの愛着を育てやすい場所でもあります。これからも地域と連携した教育活動を推し進めていきます。

### 4月18日実施 第6学年 全国学習状況調査の結果について

#### 1. 児童質問用紙からうかがえる篠原小の子ども姿

〈全国平均と見比べて、割合が高い点〉

○自分には良いところがあると思っている。 ○5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。 ○5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。 ○5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。 ○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。

〈全国平均と見比べて、割合が低い点〉

●将来の夢や目標をもっている。 ●人が困っているときは、進んで助けている。 ●いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。 ●困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。

#### 2. 学力調査からうかがえる篠原小の子ども姿

〈国語〉どの項目においても全国平均を上回っている。特に、思考力・判断力・表現力の話すこと・聞くことに関する項目の割合が高い。また、与えられた情報やグラフをもとに文章を書くことができています。

〈算数〉どの項目においても全国平均を上回っている。記述式の正答率が全国平均に比べ、約17%高くなっていることから、知識だけでなく、思考力・判断力・表現力も身に付いていると考えられる。

#### 3. 今後の取り組み

総合的な学習の時間や卒業に向けての取り組みを行っていく中で、自分自身のことを見つめるとともに、やりたいことに向かって失敗を恐れず挑戦しようという姿勢が芽生えるよう支援していく。

道徳や日々の指導の中で、助け合うことの大切さや、いじめの重大さについて考えていくことができるようにしていく。

学習において、自分自身の考えをまとめ、進んで取り組んでいることに関して、全国平均よりも高くなっていることから、今後もすすんで自分の意見や考えを表現することのできる児童の育成に力を入れていく。